

平成30年度 事業実績報告

平成30年4月 1日から

平成31年3月31日まで

学校法人 豊中キリスト教会学園

幼保連携型認定こども園豊中愛光幼稚園

1. 法人の概要

名 称 学校法人 豊中キリスト教会学園（平成元年4月1日法人設立）

代表者 理事長 倉光 弘己

住 所 豊中市末広町1丁目2番28号

電 話 06-6853-9677

FAX 06-6853-9687

設置する学校

住 所 豊中市末広町1丁目2番28号

名 称 幼保連携型認定こども園 豊中愛光幼稚園

役 員

理 事 6名

監 事 2名

評議員 13名

理事会 5回開催

評議員会 3回開催

職 員 27名（常勤 17名 非常勤 10名）

2. 事業の概要

（認定こども園豊中愛光幼稚園）

《教育方針》

キリスト教精神に基づき、自由遊びを中心とした保育を進める。主体性と社会性、創造性と責任感を持った心身ともに調和のとれた子どもに成長するよう導く。

《教育内容》

遊び込みと異年齢保育による子どもたちのつながりの中から、自由に育ち、自由な発想と自ら考えて決める喜び、そして協調性を楽しむ心、神を愛し、人を愛し、自分を愛する子どもに育つように、安全できめ細かい保育と環境作りを行う。

	0歳児		1歳児		2歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
利用定員	1	3	1	10	1	10	3	23
28年度	1	3	1	10	1	12	3	25
29年度	1	3	1	10	1	12	3	25
30年度	1	3	1	10	1	12	3	25
	3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
利用定員	1	25	1	30	1	30	3	85
28年度	1	26	1	25	1	28	3	79

29年度	1	27	1	26	1	24	3	77
30年度	1	27	1	27	1	26	3	80

《保育時間及び延長保育》

教育標準時間

1号認定こども

保育時間 午前9時～午後2時 月曜日～金曜日 土・日曜日休園日

延長保育 午前8時～午前9時、午後2時～午後6時

2号認定こども・3号認定こども

標準保育時間 午前7時～午後6時 月曜日～土曜日

延長保育 午後6時～午後7時

短時間保育 午前9時から午後5時

延長保育 午前7時～午前9時、午後5時～午後7時 月曜日～土曜日

《納付金》

保育料 市町村の納税額に応じて。豊中市等市町村が定めた額。

特定保育料 3歳以上クラスの入園者は、月額2,000円（10ヶ月）を施設設備充実費として納入する。

《入園時の費用》

事務手数料 5,000円

《預り保育の内容及び費用》

月～金曜日 午後2時～午後6時、夏冬春休み中の預かりも実施。
2時間 300円

《行事予定》

春（4月） 入園式、進級式、春の日礼拝、親子プレイデー、花の日、春の遠足

夏 水遊び（プール）、お泊まり保育、夏期保育

秋 芋掘り、秋の遠足、運動会、秋の実り礼拝

冬 クリスマス礼拝と祝会、お餅つき、芸術鑑賞会、お店屋さんごっこ

春（3月）春の訪れを喜ぶとき（ひなまつり）、お別れ会、修了式、卒園式

毎月 誕生会

毎週月曜日 特別礼拝日

《施設関係》

敷地面積 763.90㎡ 運動場面積 402.95㎡

園舎面積 539.89㎡ 構造 RC構造

耐震工事 2014年3月に工事完了

《設備関係》

防犯で求められる設備の整備、災害時を想定した備品類の整備

《事業方針とその計画》

幼保連携型認定こども園としての歩みの中、乳幼児期からの質の高い教育・保育の提供がこどもたちの未来の基礎となることを再確認し、ハード面とソフト面の両面から教育・保育環境の整備に取り組みを進めている。その中で、2018年度は、前年度の取り組んできた事業計画の中で実施できなかったもの、また見直しが必要なものについて、以下の5つの計画を立て、積極的に推進した。

1. 豊中愛光幼稚園の質の向上に努める
2. 教育・保育環境と質の向上
3. 働きやすい職場環境の整備
4. 計画性を持った子育て支援の実現
5. 施設関係者評価の実施

1. 豊中愛光幼稚園の質の向上に努める

社会的要請の中で、延長時間の教育・保育の見直しが必要であった。なかでも、計画立案のための子どもの姿の記録、振り返り、協議を重ねるといふ日ごろの積み重ねの重要性を教職員間で再確認し合った。また、園の柱となるキリスト教精神に基づいた人間観・子ども観の共有を図り、建設的な意見を出しあい、尊敬しあえる教職員の間関係の形成するため、職員会議や園内研修を計画的に実施した。今後も外部研修を含め、教職員のキャリアアップに努める必要がある。

2. 教育環境の改善と質の向上

自然災害によるハード面(園庭の木の伐採や防犯カメラの付け替えなど)での取り組みが必要となった年であった。

3. 働きやすい職場環境の整備

こども園移行時から、各教職員の意識改革がみられ円滑なコミュニケーションが図れるようになってきた。しかし、人員確保などに課題がある。良好な人間関係と労務関係の整備は、継続して取り組む必要がある。

4. 計画性を持った子育て支援の実現

子育てに自信をもてない親が増えていると感じる。その中で有用な取り組み

と考える以下の4つの事業に取り組んだ。

- ① 園庭開放『ひよこ』
- ② キンダーカウンセラー
- ③ 子育て相談
- ④ 2歳児の親子教室『うさぎ』

5. 施設関係者評価の実施

2017年度(平成29年度:昨年度)豊中愛光幼稚園の施設関係者評価を実施した。客観性をもった忌憚ない意見をもらうことが、今後の幼稚園の質の向上には不可欠であるため、今後も引き続き評価実施を推進する。

<収支予算書>

別紙の通り

以 上